

『17年分の感謝を込めて MD-90 ありがとう』

～退役予定の MD-90 に関する広島空港でのイベントの実施について～

2013年3月15日

広島＝羽田線で運航しております「マクダネル・ダグラス MD90」が、2012年度末をもって退役予定となり、現在のところ、3月30日(土) JAL1614便が国内線定期便としては最終フライトとなる予定です。

日本エアシステム(JAS)が導入した MD90 型機の初就航は 1996年4月1日。広島空港にも同日に就航して以来 17年間、全国の、広島のを飛び活躍してきた同機への感謝を込めて、広島空港において3月14日(木)～3月30日(土)までの期間、モデルプレーン等の展示をいたします。また、最終フライトとなる3月30日(土)当日は JAL1614 便においてセレモニーの実施を予定しております。

ぜひこの機会に広島空港へお立ち寄りください。

(3月30日(土)当日のセレモニー詳細につきましては、あらためてご案内いたします。)

記

- 日時 : 2013年3月14日(木)～3月30日(土)
- 場所 : 広島空港ターミナルビル2階 JALカウンター自動チェックイン機付近
- 展示内容 : MD-90 モデルプレーン・レインボーカラー7機、写真ポスターパネル

～MD-90 型機について～

今は無き往年の名門航空機メーカーである米国ダグラス社。約50年前に初飛行した傑作機 DC-9 の流れをくむ航空機が MD-90 型機です。日本エアシステム(JAS)が導入した MD-90 の初就航は今から18年前の1996年4月、映画監督の故黒澤明氏のデザインによる、虹を模した7種類もの塗装はその大胆ユニークで斬新な塗色から大変話題を呼び、就航先の空港では航空ファンのみならず搭乗客、飛行場を訪れる大勢の人々を驚かせ、目を楽しませてくれました。



洗練された機内アコモデーションや良好な居住性、そして高い運航経済性能も相まって最盛期の在籍は16機にもものぼっています。一時期、大阪伊丹をベースに活躍していた本機ですが、近年は羽田に足場を移し、JAL 機材の再編・小型化の一翼を担う形で羽田＝広島等の路線に活躍の場を得てきましたが、現在、残る2機が2013年3月30日をもって退役予定となっております。

【本件についてのお問い合わせ先】

日本航空 広島支店 担当:濱田

TEL:082-244-5421 営業時間 9:30～12:00 13:00～18:00(土日祝日除く)